オーニソガラム(サンデルシー) Ornithogalum saundersiae (キジカクシ科)

秋咲きの本種と、春咲きのO. thyrthoides, O. dubium, O. arabicumの4種が総称されてオーニソガラムで流通している。2~9月には国産、10~1月には輸入が多い、花序は球形で、中央部にある小さなつぼみを包む緑色の苞葉はキクの花のようで、1小花に1枚の苞葉がつく、花が開くと花梗が伸び、苞葉は褐変し花梗の基部に残るか、落下する、花茎のみで流通し、葉はついていない、後処理剤により切り口が変色するので使用しない。

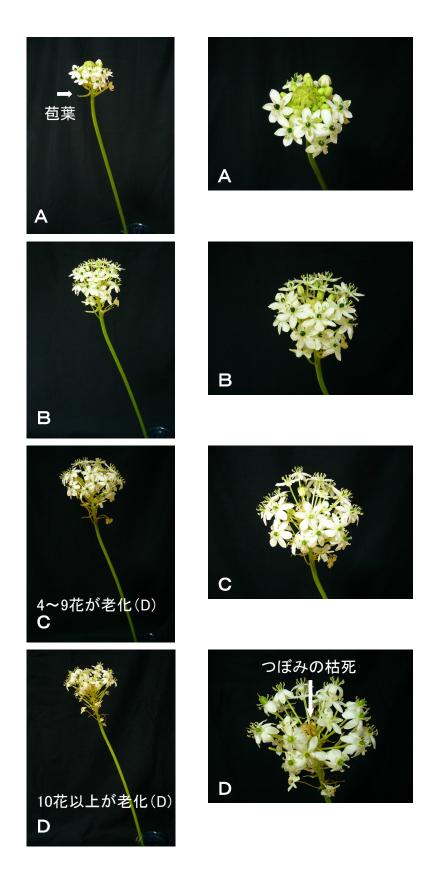
1)品質評価基準

項目	判 定 基 準	備考
小花の老化	A:雄しべが立ち上がっておらず、葯が矢尻の状態 B:花弁が水平に開き、雄しべが開葯 C:花弁が下向きに垂れ始める D:花弁が垂れる、老化が進行すると花弁の一部が水浸 状になり、やがて褐変、枯死する。	花穂の老化の判定に 用い, 日持ち終了判 定には用いない.
花穂の老化	A: 老化した小花(C, D)がなく, 花穂の中心部のつぼみを 包む苞葉が緑色. B:1~3花が老化(C, D)し, 花穂の中心部の苞葉が黄色 味を帯びる. C:4~9花が老化(D)した状態 D:10花以上が老化(D)した状態	「小花の老化」項目を 参考に、D判定の小 花数を計測. 基部の 小花から老化が進行 する.
つぼみを包む苞葉の 黄変・褐変	A:つぼみが開花した花より突出しており, 苞葉が緑色 C:つぼみが周囲の小花より低い位置になり, 苞葉が褐変 D:つぼみが枯死し, 苞葉が褐色	
その他		

2)留意点

- ・後処理剤で水に浸かった茎が褐変し、腐敗するので、花びんの水は水道水を使用する.
- ・輸入品が多く、入手時に花穂下部の小花が萎凋し始めていることがあるので、それらを除去してから 調査を開始する.

3)開花



4) チェック事項 小花の老化











雄しべが星型で 葯は矢尻状態





苞葉





